

課題別研究報告書

(平成 18 年度～ 19 年度)

ICF 児童青年期バージョンの
教育施策への活用に関する開発的研究

平成 20 年 3 月

独立行政法人

国立特別支援教育総合研究所

目 次

はじめに

I. 総論

1	研究概要	1
2	ICF-CY の概要	10
3	ICF-CY が必要とされた歴史的経緯	21
4	ICF-CY と教育—その背景と理念を巡って—	36
5	ICF-CY を教育に活用する妥当性	43
6	ICF-CY を活用する意義 —教育をライフステージの一部としてとらえながら—	52
7	障害のある当事者から見た, ICF-CY 活用への期待, 予想される成果や課題等について	55
8	ICF-CY に期待すること—家族の視点から—	59
9	ICF-CY の教育現場での活用への期待と課題 —ADHD の支援団体の立場から—	64

II. 教育における ICF-CY の活用

1	教育における ICF-CY 活用の方向性	69
2	特別支援学校での ICF-CY 活用の実際 1 —児童生徒の全体像の整理と課題の明確化を中心に—	79
3	特別支援学校での ICF-CY 活用の実際 2 —教員間の共通理解と教員支援への ICF 及び ICF-CY 活用—	84
4	特別支援学校での ICF-CY 活用の実際 3 —寄宿舎における ICF-CY 活用の試み—	89
5	小・中学校等における ICF-CY 活用の可能性	97
6	教育課程と ICF-CY	104
7	ICF-CY のコーディング活用の可能性	119
8	電子化による ICF-CY 活用の取組	123
9	ICF 及び ICF-CY を含めた分類の電子的な共有について —ClaML(Classification Markup Language) の動向を中心に—	128

III. 教育関連分野や外国での ICF 及び ICF-CY の活用

1	就学前の子どもへの支援における ICF-CY 活用方策の提案	131
2	リハビリテーション分野における ICF-CY 活用への期待 —教育との連携を中心に—	135
3	福祉分野における ICF-CY 活用への期待	140
4	労働分野からみた就労への移行における ICF-CY 活用への期待	144

5	イタリアにおける障害児教育と ICF 及び ICF-CY 活用動向	149
IV. 結論—本研究の成果と課題，今後の展望—		157
V. 関連資料		
1	WHO-FIC ネットワークミーティング及び ICF 北米協力センター会議発表資料	159
2	学会発表資料等	161

謝辞